

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成 28年 4 月度）

対象期間： 平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 4 月 30 日

施設名： 雑芥焼却炉 （103B - 101）

稼働日数 29 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量 (単位)
産業廃棄物	廃 油	45 (kl/月)
	廃 酸	— (kl/月)
	廃アルカリ	— (kl/月)
	廃プラスチック	30 (kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	— (kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	— (kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	— (kl/月)
一般廃棄物	廃液	— (t/月)
	紙くず	465 (kg/月)
	木くず	28,000 (kg/月)
	繊維くず	290 (kg/月)
	金属くず	4,541 (kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	45 (kg/月)
	一般ごみ	15,545 (kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置（連続測定記録）

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成 28年 4月 4	平成 28年 4月 4	平成 28年 4月 4日
測定結果	828℃	169℃	31ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

		6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置		別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)			
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物	(Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん	(g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素	(mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物	(v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1回/年 以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しやく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成 28 年 5 月度）

対象期間： 平成 28 年 5 月 1 日～ 28 年 5 月 31 日

施設名： 雑芥焼却炉 (103B - 101) 稼働日数 25 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量 (単位)
産業廃棄物	廃 油	37 (kl/月)
	廃 酸	- (kl/月)
	廃アルカリ	- (kl/月)
	廃プラスチック	0 (kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	- (kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	- (kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	- (kl/月)
一般廃棄物	廃液	- (t/月)
	紙くず	405 (kg/月)
	木くず	28,400 (kg/月)
	繊維くず	250 (kg/月)
	金属くず	3,600 (kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	458 (kg/月)
	一般ごみ	13,435 (kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置 (連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成28年5月8日	平成28年5月8日	平成28年5月8日
測定結果	877℃	169℃	26ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

	6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)		
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物 (v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1回/年 以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しゃく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成 28 年 6 月度）

対象期間： 平成 28 年 6 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日

施設名： 雑芥焼却炉（103B - 101） 稼働日数 30 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量	(単位)
産業廃棄物	廃 油	45	(kl/月)
	廃 酸	—	(kl/月)
	廃アルカリ	—	(kl/月)
	廃プラスチック	0	(kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	—	(kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	—	(kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	—	(kl/月)
一般廃棄物	廃液	—	(t/月)
	紙くず	552	(kg/月)
	木くず	33,600	(kg/月)
	繊維くず	300	(kg/月)
	金属くず	4,320	(kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	728	(kg/月)
	一般ごみ	16,152	(kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置（連続測定記録）

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成 28 年 6 月 3 日	平成 28 年 6 月 3 日	平成 28 年 6 月 3 日
測定結果	891℃	171℃	48ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

	6ヶ月に1回以上	1年に1回以上	
採取位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	
採取した年月日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
測定結果が得られた日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)			
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物	(Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん	(g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素	(mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物	(v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1年に1回以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しゃく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成 28 年 7 月度）

対象期間： 平成 28 年 7 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日

施設名： 雑芥焼却炉 (103B - 101)

稼働日数 27 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量 (単位)
産業廃棄物	廃油	43 (kl/月)
	廃酸	— (kl/月)
	廃アルカリ	— (kl/月)
	廃プラスチック	0 (kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	— (kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	— (kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	— (kl/月)
一般廃棄物	廃液	— (t/月)
	紙くず	405 (kg/月)
	木くず	26,400 (kg/月)
	繊維くず	270 (kg/月)
	金属くず	4,210 (kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	632 (kg/月)
	一般ごみ	14,445 (kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置 (連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成 28 年 7 月 3 日	平成 28 年 7 月 3 日	平成 28 年 7 月 3 日
測定結果	859℃	166℃	45ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

		6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置		別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)			
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物	(Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん	(g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素	(mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物	(v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1年に1回以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しやく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成 28 年 8 月度）

対象期間： 平成 28 年 8 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日

施設名： 雑芥焼却炉 (103B - 101)

稼働日数 22 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量 (単位)
産業廃棄物	廃油	25 (kl/月)
	廃酸	— (kl/月)
	廃アルカリ	— (kl/月)
	廃プラスチック	0 (kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	— (kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	— (kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	— (kl/月)
一般廃棄物	廃液	— (t/月)
	紙くず	360 (kg/月)
	木くず	21,600 (kg/月)
	繊維くず	220 (kg/月)
	金属くず	2,435 (kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	450 (kg/月)
	一般ごみ	11,800 (kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置 (連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成 28 年 8 月 15	平成 28 年 8 月 15 日	平成 28 年 8 月 15 日
測定結果	909℃	185℃	15ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

		6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置		別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)			
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物	(Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん	(g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素	(mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物	(v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1年に1回以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しやく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成 28 年 9 月度）

対象期間： 平成 28 年 9 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日

施設名： 雑芥焼却炉 (103B - 101)

稼働日数 27 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量 (単位)
産業廃棄物	廃油	33 (kl/月)
	廃酸	— (kl/月)
	廃アルカリ	— (kl/月)
	廃プラスチック	0 (kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	— (kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	— (kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	— (kl/月)
一般廃棄物	廃液	— (t/月)
	紙くず	405 (kg/月)
	木くず	22,880 (kg/月)
	繊維くず	270 (kg/月)
	金属くず	3,144 (kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	848 (kg/月)
	一般ごみ	14,445 (kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置 (連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成28年9月3日	平成28年9月3日	平成28年9月3日
測定結果	867℃	158℃	2ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

		6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置		別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)			
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物	(Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん	(g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素	(mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物	(v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1年に1回以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しやく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成 28 年 10 月度）

対象期間： 平成 28 年 10 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日

施設名： 雑芥焼却炉 (103B - 101) 稼働日数 26 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量 (単位)
産業廃棄物	廃 油	34 (kl/月)
	廃 酸	— (kl/月)
	廃アルカリ	— (kl/月)
	廃プラスチック	0 (kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	— (kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	— (kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	— (kl/月)
一般廃棄物	廃液	— (t/月)
	紙くず	420 (kg/月)
	木くず	25,200 (kg/月)
	繊維くず	1,300 (kg/月)
	金属くず	3,336 (kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	390 (kg/月)
	一般ごみ	40,180 (kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置 (連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成28年10月5日	平成28年10月5日	平成28年10月5日
測定結果	867℃	170℃	18ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

	6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)		
ばい煙量又は (02 12%換算値)	硫黄酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物 (v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1年に1回以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しやく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成28年11月度）

対象期間： 平成 28 年 11 月 1 日～平成 28 年 11 月 30 日

施設名： 雑芥焼却炉（103B - 101） 稼働日数 29 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量 (単位)
産業廃棄物	廃油	43 (kl/月)
	廃酸	— (kl/月)
	廃アルカリ	— (kl/月)
	廃プラスチック	0 (kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	— (kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	— (kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	— (kl/月)
一般廃棄物	廃液	— (t/月)
	紙くず	465 (kg/月)
	木くず	24,000 (kg/月)
	繊維くず	1,450 (kg/月)
	金属くず	4,176 (kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	593 (kg/月)
	一般ごみ	40,705 (kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置（連続測定記録）

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成28年11月3日	平成28年11月3日	平成28年11月3日
測定結果	873℃	196℃	56ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

		6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日	平成28年10月26日	平成28年10月6日	
測定結果が得られた日	平成28年11月9日	平成28年11月4日	
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)		0.81	
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物	0.051 (Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん	<0.006 (g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素	3 (mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物	15 (v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1年に1回以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しやく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成28年12月度）

対象期間： 平成 28 年 12月 1日 ～ 平成 28 年 12月 31日

施設名： 雑芥焼却炉（103B - 101） 稼働日数 26 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量 (単位)
産業廃棄物	廃油	39 (kl/月)
	廃酸	— (kl/月)
	廃アルカリ	— (kl/月)
	廃プラスチック	0 (kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	— (kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	— (kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	— (kl/月)
一般廃棄物	廃液	— (t/月)
	紙くず	456 (kg/月)
	木くず	21,200 (kg/月)
	繊維くず	1,300 (kg/月)
	金属くず	3,744 (kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	765 (kg/月)
	一般ごみ	36,216 (kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置（連続測定記録）

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成28年12月1日	平成28年12月1日	平成28年12月1日
測定結果	927℃	142℃	44ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

	6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)		
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物 (v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1年に1回以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しやく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成 29 年 1 月度）

対象期間： 平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日

施設名： 雑芥焼却炉（103B - 101） 稼働日数 26 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量	(単位)
産業廃棄物	廃油	47	(kl/月)
	廃酸	—	(kl/月)
	廃アルカリ	—	(kl/月)
	廃プラスチック	10	(kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	—	(kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	—	(kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	—	(kl/月)
一般廃棄物	廃液	—	(t/月)
	紙くず	540	(kg/月)
	木くず	20,800	(kg/月)
	繊維くず	1,300	(kg/月)
	金属くず	4,825	(kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	360	(kg/月)
	一般ごみ	35,910	(kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置（連続測定記録）

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成 29 年 1 月 3 日	平成 29 年 1 月 3 日	平成 29 年 1 月 3 日
測定結果	838℃	164℃	59ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

		6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置		別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)			
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物	(Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん	(g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素	(mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物	(v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1年に1回以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しやく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成 29 年 2 月度）

対象期間： 平成 29 年 2 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日

施設名： 雑芥焼却炉（103B - 101） 稼働日数 28 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量	(単位)
産業廃棄物	廃油	48	(kl/月)
	廃酸	—	(kl/月)
	廃アルカリ	—	(kl/月)
	廃プラスチック	0	(kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	—	(kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	—	(kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	—	(kl/月)
一般廃棄物	廃液	—	(t/月)
	紙くず	480	(kg/月)
	木くず	22,400	(kg/月)
	繊維くず	1,400	(kg/月)
	金属くず	4,906	(kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	623	(kg/月)
	一般ごみ	14,280	(kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置（連続測定記録）

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成 29 年 2 月 2 日	平成 29 年 2 月 2 日	平成 29 年 2 月 2 日
測定結果	969℃	188℃	6ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

		6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置		別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)			
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物	(Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん	(g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素	(mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物	(v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1年に1回以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しやく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成 29年 3 月度）

対象期間： 平成 29 年 3 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

施設名： 雑芥焼却炉（103B - 101）

稼働日数 29 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量 (単位)
産業廃棄物	廃油	45 (kl/月)
	廃酸	— (kl/月)
	廃アルカリ	— (kl/月)
	廃プラスチック	5 (kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	— (kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	— (kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	— (kl/月)
一般廃棄物	廃液	— (t/月)
	紙くず	453 (kg/月)
	木くず	23,200 (kg/月)
	繊維くず	1,450 (kg/月)
	金属くず	4,335 (kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	1,080 (kg/月)
	一般ごみ	39,898 (kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置（連続測定記録）

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成 29年 3 月 9日	平成 29年 3 月 9日	平成 29年 3 月 9日
測定結果	869℃	170℃	54ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

		6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置	別紙-1の通り	<del>別紙-1の通り</del>	
採取した年月日	平成29年 3月23日		
測定結果が得られた日	平成29年 3月30日		
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)			
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物	<0.008 (Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん	0.003 (g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素	13 (mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物	45 (v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1年に1回以上
採取位置	<del>乾留炉</del>
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しやく減量 (%)	